

授業概要

科目名	形態	回数	時間	年次	時期	曜日	時間	必修選択	授業担当者		
医療的ケアⅠ（喀痰吸引）	講義	/	32	2	/	/	/	必修	後藤 喜美子		
[科目のねらい]											
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。											
[科目の概要]											
①医療的ケア実施の基礎 ②喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）											
[到達目標]											
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。											
[使用教科書]					[授業外学習]						
最新介護福祉士養成講座「医療的ケア」 （中央法規）					生徒同士で互いに演習手順を確認しあい、手技を正確に実施できるように習熟させる。						
授業日程と内容											
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1 喀痰吸引等制度① 2 喀痰吸引等制度② 3 医療的ケアと喀痰吸引等の種類 4 医行為について 5 その他の制度 6 まとめ 7 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施① 8 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施② 9 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施③ 10 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施④ 11 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施⑤ 12 まとめ 13 感染予防 14 介護職の感染予防 15 療養環境の清潔、消毒法 16 消毒と滅菌① </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 17 消毒と滅菌② 18 まとめ 19 身体・精神の健康 20 健康状態を知る項目（バイタルチェックなど） 21 急変状態について 22 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論① 23 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論② 24 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論③ 25 まとめ 26 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説① 27 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説② 28 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説③ 29 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説④ 30 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説⑤ 31 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説⑥ 32 筆記試験 </td> </tr> </table>										1 喀痰吸引等制度① 2 喀痰吸引等制度② 3 医療的ケアと喀痰吸引等の種類 4 医行為について 5 その他の制度 6 まとめ 7 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施① 8 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施② 9 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施③ 10 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施④ 11 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施⑤ 12 まとめ 13 感染予防 14 介護職の感染予防 15 療養環境の清潔、消毒法 16 消毒と滅菌①	17 消毒と滅菌② 18 まとめ 19 身体・精神の健康 20 健康状態を知る項目（バイタルチェックなど） 21 急変状態について 22 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論① 23 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論② 24 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論③ 25 まとめ 26 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説① 27 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説② 28 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説③ 29 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説④ 30 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説⑤ 31 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説⑥ 32 筆記試験
1 喀痰吸引等制度① 2 喀痰吸引等制度② 3 医療的ケアと喀痰吸引等の種類 4 医行為について 5 その他の制度 6 まとめ 7 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施① 8 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施② 9 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施③ 10 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施④ 11 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施⑤ 12 まとめ 13 感染予防 14 介護職の感染予防 15 療養環境の清潔、消毒法 16 消毒と滅菌①	17 消毒と滅菌② 18 まとめ 19 身体・精神の健康 20 健康状態を知る項目（バイタルチェックなど） 21 急変状態について 22 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論① 23 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論② 24 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論③ 25 まとめ 26 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説① 27 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説② 28 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説③ 29 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説④ 30 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説⑤ 31 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説⑥ 32 筆記試験										
評価 方法	試験	小テスト	レポート	発表	課題	単位認定の方法及び基準					
	100%	/	/	/	/	出席率100%の者で、講義終了後の筆記試験（四肢択一）総正解率90%以上の者を合格とする。					
[教員実務経験]											
医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア（喀痰吸引の医行為）実施の歴史や基礎知識について講義する。											

授業概要

科目名	形態	回数	時間	年次	時期	曜日	時間	必修選択	授業担当者
医療的ケアⅡ（喀痰吸引演習）	演習	/	15	2	/	/	/	必修	後藤喜美子・永野令子 吉田澄枝・伊賀裕子
[科目のねらい]									
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。									
[科目の概要]									
喀痰吸引演習									
[到達目標]									
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。									
[使用教科書]					[授業外学習]				
最新介護福祉士養成講座「医療的ケア」 (中央法規)					生徒同士で互いに演習手順を確認しあい、手技を正確に実施できるように習熟させる。				
授業日程と内容									
<p>【演習】 喀痰吸引 口腔 鼻腔 気管カニューレ内部 1人につき各5回以上</p> <p>1 喀痰吸引演習① 2 喀痰吸引演習② 3 喀痰吸引演習③ 4 喀痰吸引演習④ 5 喀痰吸引演習⑤ 6 喀痰吸引演習⑥ 7 喀痰吸引演習⑦ 8 喀痰吸引演習⑧ 9 喀痰吸引演習⑨ 10 喀痰吸引演習⑩ 11 喀痰吸引演習⑪ 12 喀痰吸引演習⑫ 13 喀痰吸引演習⑬ 14 喀痰吸引演習⑭ 15 喀痰吸引演習⑮</p>									
評価 方法	試験	小テスト	レポート	発表	課題	単位認定の方法及び基準			
	/	/	/	/	/	医療的ケアⅠ（講義）の筆記試験を合格した者で、全ての演習を実施したうえで、各演習行為が手順通りに評価5回目までにすべての項目ができた者を合格とする。			
[教員実務経験]									
医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア実施の一連の流れについて演習及び評価をおこなう。									

授業概要

科目名	形態	回数	時間	年次	時期	曜日	時間	必修選択	授業担当者
医療的ケアⅢ（経管栄養）	講義	/	18	2	/	/	/	必修	後藤 喜美子
[科目のねらい]									
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。									
[科目の概要]									
①医療的ケア実施の基礎 ②経管栄養（基礎的知識・実施手順）									
[到達目標]									
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。									
[使用教科書]					[授業外学習]				
最新介護福祉士養成講座「医療的ケア」 （中央法規）					生徒同士で互いに演習手順を確認しあい、手技を正確に実施できるように習熟させる。				
授業日程と内容									
1 高齢者および障害児・者の経管栄養概論①					16 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑨				
2 高齢者および障害児・者の経管栄養概論②					17 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑩				
3 高齢者および障害児・者の経管栄養概論③					18 筆記試験				
4 高齢者および障害児・者の経管栄養概論④									
5 高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑤									
6 まとめ									
7 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説①									
8 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説②									
9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説③									
10 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説④									
11 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑤									
12 まとめ									
13 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑥									
14 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑦									
15 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑧									
評価 方法	試験	小テスト	レポート	発表	課題	単位認定の方法及び基準			
	100%	/	/	/	/	出席率100%の者で、講義終了後の筆記試験（四肢択一）総正解率90%以上の者を合格とする。			
[教員実務経験]									
医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケア（経管栄養の医行為）実施の歴史や基礎知識について講義する。									

授業概要

科目名	形態	回数	時間	年次	時期	曜日	時間	必修選択	授業担当者
医療的ケアⅣ（経管栄養演習）	演習	/	15	2	/	/	/	必修	後藤喜美子・永野令子 吉田澄枝・伊賀裕子
[科目のねらい]									
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。									
[科目の概要]									
経管栄養演習									
[到達目標]									
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。									
[使用教科書]					[授業外学習]				
最新介護福祉士養成講座「医療的ケア」 （中央法規）					生徒同士で互いに演習手順を確認しあい、手技を正確に実施できるように習熟させる。				
授業日程と内容									
【演習】									
1	経管栄養演習①								上級救命講習
2	経管栄養演習②								講義終了後、筆記試験と実技試験合格点を満たす。
3	経管栄養演習③								後日、救命講習修了書を発行
4	経管栄養演習④								（救命蘇生法）
5	経管栄養演習⑤								経管栄養 胃ろう又は腸ろう 経鼻経管栄養
6	経管栄養演習⑥								1人につき各5回以上
7	経管栄養演習⑦								
8	経管栄養演習⑧								
9	経管栄養演習⑨								
10	経管栄養演習⑩								
11	経管栄養演習⑪								
12	経管栄養演習⑫								
13	経管栄養演習⑬								
14	経管栄養演習⑭								
15	経管栄養演習⑮								
評価 方法	試験	小テスト	レポート	発表	課題	単位認定の方法及び基準			
	/	/	/	/	/	医療的ケアⅢ（講義）の筆記試験を合格した者で、全ての演習を実施したうえで、各演習行為が手順通りに評価5回目までにすべての項目ができた者を合格とする。			
[教員実務経験]									
医療機関で看護師として長年勤務した経験がある教員が、医療的ケアの実施の一連の流れについて演習及び評価をおこなう。									